



2024年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年11月8日

上場会社名 フィード・ワン株式会社 上場取引所 東
コード番号 2060 URL <https://www.feed-one.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 庄司 英洋
問合せ先責任者 (役職名) 管理本部財務経理部長 (氏名) 望月 弘次 TEL 045-311-2300
四半期報告書提出予定日 2023年11月9日 配当支払開始予定日 2023年12月1日
四半期決算補足説明資料作成の有無：有
四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2024年3月期第2四半期の連結業績（2023年4月1日～2023年9月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	156,645	8.1	2,844	—	3,171	—	1,989	—
2023年3月期第2四半期	144,890	22.9	△99	—	103	△97.4	△29	—

（注）包括利益 2024年3月期第2四半期 3,088百万円（468.9%） 2023年3月期第2四半期 542百万円（△81.3%）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第2四半期	52.07	—
2023年3月期第2四半期	△0.78	—

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第2四半期	134,881	47,995	35.1
2023年3月期	127,913	45,314	35.0

（参考）自己資本 2024年3月期第2四半期 47,409百万円 2023年3月期 44,768百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	12.50	—	12.50	25.00
2024年3月期	—	12.50	—	—	—
2024年3月期（予想）	—	—	—	12.50	25.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2024年3月期の連結業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	323,000	4.9	3,500	146.0	3,500	104.5	2,300	123.1	60.11

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 ー社（社名）、除外 ー社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期2Q	38,477,128株	2023年3月期	38,477,128株
② 期末自己株式数	2024年3月期2Q	212,009株	2023年3月期	297,519株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期2Q	38,210,682株	2023年3月期2Q	38,154,506株

(注) 期末自己株式数及び期中平均株式数の算定に当たり控除する自己株式数には、「役員向け株式交付信託」の信託財産として株式会社日本カストディ銀行（信託口）が保有する当社株式（2024年3月期2Q 166,960株、2023年3月期253,960株）を含めております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっては、四半期決算短信（添付資料）3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（四半期決算補足説明資料及び四半期決算説明会内容の入手方法）

四半期決算補足説明資料はTDnetで同日開示し、当社ホームページにも掲載いたします。また、当社は、2023年11月21日（火）に機関投資家・アナリスト向けに決算説明会を開催する予定であり、その内容については、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(追加情報)	9
(セグメント情報)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(2023年4月1日から2023年9月30日まで)のわが国経済は、緊迫した世界情勢に起因するエネルギー・原材料価格の上昇や金融資本市場の変動、国内の物価上昇及び中国経済回復の遅れが景気に及ぼす影響等、依然として先行きが不透明な状況が続いております。しかしながら、新型コロナウイルス感染症の収束傾向により、社会活動が徐々に正常化し、緩やかな回復が見られました。

飼料業界におきましては、ロシア・ウクライナ情勢を始めとした政情不安が続いておりますが、主原料であるとうもろこしの価格は、安定した収穫量の見通しに支えられ、下降傾向が続いております。

当社グループは本年1月に畜産用配合飼料価格を引き下げ、4月と7月にも連続して価格を引き下げました。しかしながら、飼料価格安定基金負担金の増額や円安の進行等により、事業環境は依然として厳しい状態が続いております。

畜産物につきましては、豚肉相場は、記録的な猛暑や疾病の影響により発育成績が悪化し出荷頭数が減少したことから、前年同期を上回って推移しております。鶏卵相場は、昨年10月より広域に発生した鳥インフルエンザや記録的な猛暑の影響により供給量が減少したことから、前年同期を上回って推移しております。牛肉相場は、出荷頭数の増加や物価高騰による消費者の生活防衛意識の高まりにより牛肉への需要が減少したことから、前年同期を下回って推移しております。

こうした環境にあって、当社グループは原料調達が多様化・生産体制の合理化、畜産・水産生産者へ供給する製品の品質向上及び生産成績改善につながるサービス提供等の取り組みを進めてまいりました。

当社グループの当第2四半期連結累計期間の経営成績につきましては、売上高は1,566億4千5百万円(前年同期比8.1%増)、営業利益は28億4千4百万円(前年同期は9千9百万円の営業損失)、経常利益は31億7千1百万円(前年同期は1億3百万円の経常利益)、親会社株主に帰属する四半期純利益は19億8千9百万円(前年同期は2千9百万円の親会社株主に帰属する四半期純損失)となりました。

セグメントごとの経営成績の状況は、次のとおりであります。

① 飼料事業

飼料事業では、畜産飼料の販売数量が前年同期よりも増加したことに加え、エネルギー価格高騰に伴う価格転嫁を進めたことにより平均販売価格も上昇したこと、また、水産飼料の販売数量は前年同期よりも減少したものの平均販売価格は大きく上昇したこと等から、当第2四半期連結累計期間の売上高は1,324億7千2百万円(前年同期比6.6%増)となりました。営業利益は、畜産・水産飼料ともに前年同期よりも収益環境の改善が進んだこと等から、36億7千万円(前年同期比212.3%増)となりました。

② 食品事業

食品事業では、畜産物相場が前年同期よりも高値で推移していること等から、当第2四半期連結累計期間の売上高は228億7千6百万円(前年同期比17.5%増)となりました。営業利益は、販売価格条件見直しの実施が進捗したこと等により、2億7千7百万円(前年同期は2億1百万円の営業損失)となりました。

③ その他

畜水産機材の販売及び不動産賃貸の事業等であり、当第2四半期連結累計期間の売上高は12億9千7百万円(前年同期比9.8%増)、営業利益は1億3千1百万円(前年同期比14.8%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は、現金及び預金の増加、当第2四半期連結会計期間末日が金融機関の休日であった影響による売上債権の増加等により、1,348億8千1百万円(前期末比5.4%増)となりました。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末の負債合計は、短期借入金の返済による減少があった一方、当第2四半期連結会計期間末日が金融機関の休日であった影響で仕入債務は増加したこと等から、868億8千6百万円(前期末比5.2%増)となりました。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末の純資産合計は、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上による利益剰余金の増加、その他有価証券評価差額金の増加等により479億9千5百万円(前期末比5.9%増)となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ39億9千8百万円増加し、113億2千万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益の計上、月末休日要因を含む運転資金需要の減少等による資金の増加により124億9千9百万円の収入（前年同期は107億5千6百万円の支出）となりました。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形及び無形固定資産の取得等による資金の減少により12億1千万円の支出（前年同期は9億4千5百万円の支出）となりました。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動によるキャッシュ・フローは、短期借入金の返済等による資金の減少により72億9千万円の支出（前年同期は127億5千5百万円の収入）となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期の業績予想及び配当予想につきましては、2023年5月12日に公表いたしました数値から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,379	11,379
受取手形及び売掛金	51,375	53,830
電子記録債権	3,885	4,341
商品及び製品	3,070	2,910
原材料及び貯蔵品	17,156	15,921
動物	357	403
その他	2,791	3,200
貸倒引当金	△180	△142
流動資産合計	85,836	91,844
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	13,002	12,778
機械装置及び運搬具（純額）	11,217	10,695
土地	6,114	6,108
リース資産（純額）	727	671
建設仮勘定	68	21
その他（純額）	538	537
有形固定資産合計	31,668	30,812
無形固定資産		
その他	916	1,422
無形固定資産合計	916	1,422
投資その他の資産		
投資有価証券	8,531	9,967
長期貸付金	12	10
破産更生債権等	327	284
繰延税金資産	274	195
その他	702	664
貸倒引当金	△356	△322
投資その他の資産合計	9,491	10,801
固定資産合計	42,076	43,036
資産合計	127,913	134,881

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	36,482	45,193
短期借入金	16,803	7,438
リース債務	126	123
未払法人税等	467	929
賞与引当金	558	584
その他	5,636	7,089
流動負債合計	60,074	61,358
固定負債		
長期借入金	19,208	21,861
リース債務	658	597
繰延税金負債	203	654
役員株式給付引当金	173	116
退職給付に係る負債	2,234	2,252
資産除去債務	3	3
その他	42	43
固定負債合計	22,523	25,528
負債合計	82,598	86,886
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,000	10,000
資本剰余金	9,737	9,737
利益剰余金	23,952	25,461
自己株式	△244	△172
株主資本合計	43,445	45,026
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,229	2,021
繰延ヘッジ損益	32	166
為替換算調整勘定	61	194
退職給付に係る調整累計額	△0	0
その他の包括利益累計額合計	1,323	2,383
非支配株主持分	546	585
純資産合計	45,314	47,995
負債純資産合計	127,913	134,881

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
売上高	144,890	156,645
売上原価	134,386	142,821
売上総利益	10,504	13,824
販売費及び一般管理費	10,603	10,980
営業利益又は営業損失(△)	△99	2,844
営業外収益		
受取利息	5	5
受取配当金	104	112
持分法による投資利益	42	130
その他	243	197
営業外収益合計	395	445
営業外費用		
支払利息	63	94
その他	129	23
営業外費用合計	192	118
経常利益	103	3,171
特別利益		
固定資産売却益	32	6
特別利益合計	32	6
特別損失		
固定資産売却損	4	7
固定資産除却損	30	21
減損損失	29	6
リース解約損	—	0
子会社整理損	0	—
投資有価証券評価損	—	2
工場閉鎖損失	—	144
特別損失合計	64	182
税金等調整前四半期純利益	71	2,996
法人税、住民税及び事業税	136	843
法人税等調整額	△56	123
法人税等合計	79	967
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△8	2,028
非支配株主に帰属する四半期純利益	20	38
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△29	1,989

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△8	2,028
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	148	792
繰延ヘッジ損益	215	133
退職給付に係る調整額	5	1
持分法適用会社に対する持分相当額	182	132
その他の包括利益合計	551	1,060
四半期包括利益	542	3,088
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	521	3,049
非支配株主に係る四半期包括利益	20	38

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	71	2,996
減価償却費	1,630	1,598
減損損失	29	6
持分法による投資損益(△は益)	△42	△130
貸倒引当金の増減額(△は減少)	157	△31
賞与引当金の増減額(△は減少)	7	26
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	102	20
役員株式給付引当金の増減額(△は減少)	△6	△57
受取利息及び受取配当金	△110	△117
支払利息	63	94
投資有価証券評価損益(△は益)	—	2
固定資産除売却損益(△は益)	1	22
子会社整理損	0	—
売上債権の増減額(△は増加)	△11,825	△2,907
棚卸資産の増減額(△は増加)	△3,225	1,348
仕入債務の増減額(△は減少)	3,168	8,710
その他	△440	1,206
小計	△10,416	12,787
法人税等の支払額	△340	△288
営業活動によるキャッシュ・フロー	△10,756	12,499
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形及び無形固定資産の取得による支出	△1,213	△1,260
有形及び無形固定資産の売却による収入	42	16
投資有価証券の取得による支出	△2	△2
子会社の清算による収入	6	—
貸付けによる支出	—	△105
貸付金の回収による収入	104	1
利息及び配当金の受取額	116	125
その他	△0	13
投資活動によるキャッシュ・フロー	△945	△1,210
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	4,035	△9,485
長期借入れによる収入	10,300	3,650
長期借入金の返済による支出	△931	△877
利息の支払額	△56	△95
配当金の支払額	△478	△482
リース債務の返済による支出	△66	△64
支払手数料の支払額	△73	△8
自己株式の取得による支出	△0	△1
自己株式の売却による収入	27	73
財務活動によるキャッシュ・フロー	12,755	△7,290
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,052	3,998
現金及び現金同等物の期首残高	3,444	7,322
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,497	11,320

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(役員向け株式交付信託)

当社は、当社取締役(社外取締役を除く。以下について同じ。)及び当社と委任契約を締結している執行役員(以下総称して「取締役等」という。)を対象とする株式報酬制度「役員向け株式交付信託」(以下「本制度」という。)を導入しております。

(1) 取引の概要

本制度は、取締役等の報酬として、当社が金銭を拠出することにより設定する信託(以下「本信託」という。)が当社株式を取得し、当社が定める「株式交付規程」に基づいて、各取締役等に付与するポイントの数に相当する数の当社株式等が本信託を通じて交付されます。

また、本制度は、2021年5月19日の取締役会において延長されることが決議されました。延長後の本制度においては、2022年3月末日で終了する事業年度から2025年3月末日で終了する事業年度までの3事業年度の間在任する取締役等に対して当社株式等が交付されます。なお、当社取締役等が当社株式等の交付を受ける時期は、原則として取締役等の退任時となります。

本制度に関する会計処理については、「従業員等に信託を通じて自社の株式を交付する取引に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第30号 2015年3月26日)に準じて、総額法を適用しております。なお、「株式交付規程」に基づく当社取締役等への当社株式の交付に備えるため、当第2四半期連結会計期間における株式給付債務の見込額に基づき役員株式給付引当金を計上しております。

(2) 信託に残存する自社の株式

本信託に残存する当社株式を、信託における帳簿価額(付随費用の金額を除く。)により、純資産の部に自己株式として計上しております。前連結会計年度末の当該株式の帳簿価額は214百万円、株式数は253,960株であり、当第2四半期連結会計期間末の当該株式の帳簿価額は140百万円、株式数は166,960株であります。

(3) 総額法の適用により計上された借入金の帳簿価額

該当事項はありません。

(セグメント情報)

前第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	飼料事業	食品事業	計				
売上高							
顧客との契約から生じる収益	124,241	19,466	143,708	1,181	144,890	—	144,890
外部顧客に対する売上高	124,241	19,466	143,708	1,181	144,890	—	144,890
セグメント間の内部売上高又は振替高	767	0	768	160	928	△928	—
計	125,009	19,467	144,477	1,341	145,819	△928	144,890
セグメント利益又は損失(△)	1,175	△201	974	114	1,088	△1,188	△99

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、畜水産機材の販売及び不動産賃貸等の事業を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失の調整額△1,188百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,193百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「飼料事業」セグメントにおいて、将来の使用が見込まれなくなった資産について、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、7百万円を減損損失として特別損失に計上しております。

また、報告セグメントに配分されない減損損失は、22百万円であります。

当第2四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	飼料事業	食品事業	計				
売上高							
顧客との契約から生じる収益	132,472	22,876	155,348	1,297	156,645	—	156,645
外部顧客に対する売上高	132,472	22,876	155,348	1,297	156,645	—	156,645
セグメント間の内部売上高又は振替高	794	0	795	173	968	△968	—
計	133,266	22,877	156,144	1,470	157,614	△968	156,645
セグメント利益	3,670	277	3,948	131	4,080	△1,236	2,844

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、畜水産機材の販売及び不動産賃貸等の事業を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△1,236百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,241百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

報告セグメントに配分されない減損損失は、6百万円であります。